

2024年8月29日
伊豆急行株式会社

【お詫びとご報告】鉄道車両の検査の一部未実施等につきまして

この度、当社の保有する鉄道車両につきまして、社内にて定める検査の一部につき未実施であったことが、社内調査にて判明しました。

お客様および関係する皆様には、ご心配とご迷惑をお掛けし、深くお詫び申し上げます。

当社は本事案を厳粛に受け止め、今後、再発防止に取り組んでまいります。

詳細は下記のとおりです。

記

1. 判明した検査の一部未実施の内容

当社における車両の状態および機能についての定期検査（以下、本検査）は、当社の定めにより、3ヶ月に一度実施しています。しかし、2023年11月から2024年6月までの間、当社保有の全19編成中15編成の本検査において、全26項目のうち、絶縁抵抗試験¹および自動列車停止装置の機能検査²の一部につき未実施であったことが判明しました。加えて、検査結果を記録する検査表には、未実施であった項目について、実施済みであると記載しておりました。

該当車両は日常における出庫点検などで異常のないことを確認し、営業運転しておりましたが、本事案判明後、2024年7月20日までに、該当車両すべてにつき、未実施であった検査を実施し、異常の無いことを確認しました。

2. 主な経緯

【2024年6月26日】

コンプライアンス相談窓口への通報を受け、社内調査を開始

【7月4日】

緊急の第一回社内調査の結果、社内にて定める検査の一部につき、未実施であったことを確認

【7月5日】

検査未実施について、国土交通省中部運輸局へ報告

【7月5日から7月20日】

該当車両すべてにつき、未実施であった検査を実施

【7月24日から8月19日】

第二回の社内調査により、検査の未実施が上記検査の一部に限ることを改めて確認するとともに、検査未実施にいたった背景および原因を確認

3. 背景・原因

車両部門における人的リソースが不足し、検査工程が逼迫する中、管理監督者が社内にて定めた検査の一部を実施しなくても問題ないと判断したことが、本事案の発端と考えております。

また、車両部門の誤った判断を是正すべき立場の本社管理部門において、現場の実態を適切に把握する管理体制が十分に構築されていなかったことも、検査の一部未実施が継続された原因と考えております。

4. 再発防止策

車両部門における人的リソースの拡充を図るとともに、業務効率化に向けた設備導入およびマニュアル整備を含む教育体制の充実・コンプライアンスの強化に取り組んでまいります。

経営層と現業部門のコミュニケーション機会の拡大や本社管理部門の役割明確化を通じて、現場の課題の早期把握および是正を可能とする体制の見直し・強化を図ってまいります。

以 上

¹ 絶縁抵抗試験とは、車両の電気系統が適切に絶縁されているかを絶縁抵抗計により確認する試験

² 自動列車停止装置の機能検査とは、自動的に列車を減速または停止させるための機能を確認する検査
(1, 2 いずれも出庫点検時において機能の異常がないことを確認)

【本件についてのお問い合わせ先】

伊豆急行株式会社 事業統括部 統括課 電話0557-53-1111